

2022年度 立教女学院高等学校 土曜集会プログラム

大テーマ 『広く世界に目を向けて、人間性を豊かにしよう』

サブテーマ 「変わる世界、歩み出す私」

ねらい 変わりゆく世界を歩む今、見通しのない不確かさに立つ様に感じる時もあるかもしれません。本年度は様々な道を切り開いてこられた方々のお話しを通して、人生を模索すること、“わたし”を築く豊かさを考えました。

4月16日 イースター礼拝 説教 朝岡 勝先生 【マーガレット礼拝堂】
(東京キリスト教学園・東京基督教大学理事長)

死を超えた復活の命の希望を、御自身の体験を通して語って下さいました。大きな励ましと確信を頂いて、イエス様の復活を覚える礼拝でした。

5月7日 講演 佐川 友彦さん(ファームサイド株式会社代表取締役) 【講堂】
農業者をサポートして課題解決する新たな視点と働きについて、またクリスチャンとしての人生観、歩みについて伺いました。

6月17日(金) 合唱交歓会
課題曲 ヘンデル作曲 オラトリオ「メサイア」より「ハレルヤ」

キャンプ週間【映画鑑賞】

1年 『ちむぐりさ ～菜の花の沖縄日記～』

沖縄のフリースクールにやって来た15歳の坂本菜の花さん。夜間部に通う戦争体験者のおじい、おばあと出会い、菜の花さんは沖縄の現実を見つめ始めます。今も基地から派生して起こる事件や事故、基地移設、地元の声。明るい沖縄にある戦争の現実、葛藤しながら誠実に問う菜の花さんに学びました。

2年 『ヒトラーへの285枚の葉書』

1940年ベルリンの労働者階級のオットーと妻アンナは、ペンと葉書を武器にナチス政権に静かな抵抗と命がけで戦争に反対した夫婦の強さが描かれていました。実話を基にしたこの作品から、戦時下の緊張した社会や思想が守られる大切さを考えました。

3年 『みかんの丘』

アブハジア自治共和国でジョージアとアブハジア間の闘いが起こり、敵対するチェチェン兵とジョージア兵、二人の敵対する負傷兵士を家で介抱することになったエストニア人の老人。戦争の虚しさと静かな老人を通して変わる二人の関わりに学ぶ作品でした。

9月20日(火) 講演 温又柔さん(作家) 【講堂】台風の為、中止。

11月5日 講演 塩谷 歩波さん(画家・本校卒業生) 【講堂】3月に延期。

- 12月21日（水） クリスマス礼拝 説教 魯恩碩先生 【マーガレット礼拝堂】
（国際基督教大学教養学部アーツ・サイエンス学科教授）
「主は心を見る」という御言葉から、イエス様の降誕とそれを迎えた人々のお話しを伺った感謝に溢れるクリスマスの時でした。
- 1月20日（金） ニューイヤーコンサート（NBAバレエ団） 【J:COMホール八王子】
- 2月18日 講演 井上 芳雄さん（俳優） 【マリア礼拝堂】
俳優になるまでのご自身の歩みと、信仰を持って歌うことの意味を聖歌やミュージカルの曲目と合わせて伺う貴重な時でした。
- 3月6日（月） 講演 塩谷 歩波さん（画家・本校卒業生） 【講堂】
まとめの発表【HR】
紆余曲折を経る中で、絵を描くことを自身の生き方にしてきたこと、その決意や苦労も伺いました。卒業生のお話しに勇気づけられました。